
全国高等専門学校 第16回プログラミングコンテスト 本選実施要項（参加要項）

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月9日（金）必着で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校第16回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第16回プログラミングコンテスト
本選実施要項（参加要項）

1 . 大会全般についての連絡事項(各部門共通)-----	3
1 . 1 主催・後援・協賛-----	3
1 . 2 事務局 -----	3
1 . 3 参加者 -----	3
1 . 4 審査委員 -----	4
1 . 5 受付・参加者連絡会議等 -----	4
1 . 6 日 程 -----	5
1 . 7 提出書類 -----	6
[1] 9月9日(金)必着分	
[2] 受付時提出書類	
[3] 参加校PR	
1 . 8 知的所有権について -----	8
1 . 9 表彰について-----	8
1 . 1 0 学生交流企画について-----	8
1 . 1 1 会場使用について-----	9
1 . 1 2 宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会および会場への交通-----	9
1 . 1 3 問い合わせ先-----	10
1 . 1 4 著作物等の扱いについて-----	10
1 . 1 5 その他の注意事項-----	10
2 . 課題・自由部門についての連絡事項-----	11
2 . 1 システムの搬入・搬出について-----	11
2 . 2 プレゼンテーションについて-----	12
2 . 3 デモンストレーションについて-----	13
3 . 競技部門についての連絡事項 -----	15
3 . 1 組み合わせ-----	15
3 . 2 選考の概要-----	15
3 . 3 予行演習-----	15
3 . 4 質問受付-----	15

- 付録A . 課題部門プレゼンテーション審査のタイムテーブル
- 付録B . 自由部門プレゼンテーション審査のタイムテーブル
- 付録C . デモンストレーション審査・マニュアル審査タイムテーブル
- 付録D . デモンストレーション用ブースの配置と展示スペース
- 付録E . 競技組み合わせ
- 付録F . 本選会場案内図
- 付録G . 梱包識別表
- 付録H . ホテル周辺地図
- 付録I . アクセスマップ

同意書（提出用） 1 通
システム等の調書（見本） 2 通

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）

1.1 主催・後援・協賛

主 催 高等専門学校連合会

共 催 第17回全国生涯学習フェスティバル実行委員会

後 援 文部科学省，鳥取県，鳥取県教育委員会，米子市，米子市教育委員会，(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会，(社)パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会，(財)実務技能検定協会，(社)情報処理学会，(社)電子情報通信学会，教育システム情報学会，新日本海新聞社，山陰中央新報社，NHK，山陰放送，日本海テレビ，山陰中央テレビ，(株)中海テレビ放送，プロコンの国際化を支援する会，米子工業高等専門学校振興協力会，米子工業高等専門学校後援会，米子工業高等専門学校同窓会

特別協賛 富士通(株)，翼システム(株)，マイクロソフト(株)

一般協賛 (株)インテリジェントウェイブ，伊藤忠テクノサイエンス(株) シーティーシー・テクノロジー(株)，(株)ヴァル研究所，ウッドランド(株)，エー・アイ・ソフト(株)，(株)コーエー，(株)システムゼウス，セイコーエプソン(株) エプソン販売(株)，総合警備保障(株)，(株)ソピア，(株)タマディック，(株)デザイン・クリエイション，(株)トヨタコミュニケーションシステム，(株)トヨタテクノサービス，ニスコム(株)，ネクストウェア(株)，メガソフト(株)，(株)ルネサステクノロジ

1.2 事務局

大会事務局

独立行政法人 国立高等専門学校機構企画課内

委員会事務局

米子工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生および指導教員

課題部門 20 チーム

自由部門 20 チーム

競技部門 59 チーム

オープン参加(ハノイ工科大学) 課題部門 1チーム, 競技部門 1チーム

オープン参加(モンゴル科学技術大学) 課題部門 1チーム, 競技部門 1チーム

1.4 審査委員（敬称略，五十音順）

審査委員長

神沼 靖子（前 前橋工科大学 教授）

審査委員

臼井 支朗（理化学研究所 脳科学総合研究センター チームリーダー）

梅村 恭司（豊橋技術科学大学 教授）

大岩 元（慶應義塾大学 教授）

尾川 正美（富士通㈱ 文教ソリューション事業本部副本部長）

小口 徹（エプソン販売㈱ 代表取締役専務）

國枝 義敏（立命館大学 教授）

清水 洋三（(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会 名誉顧問）

田中 達彦（マイクロソフト㈱ アカデミック情報教育推進部マネージャ）

梨本 豊代美（ネクストウェア㈱ 常務取締役）

松澤 照男（北陸先端科学技術大学院大学 教授）

南崎 英和（NHK 放送技術局ニュース報道番組技術部長）

宮地 力（国立スポーツ科学センター 副主任研究員）

山谷 昌則（翼システム㈱ システム事業部長執行役員）

吉川 敏則（長岡技術科学大学 教授）

1.5 受付・参加者連絡会議等

受付

期日 平成17年10月8日(土) 17:00 ~ 18:00

会場にて受付を行います。場所・内容等は「1.6 日程」を参照してください。

参加者連絡会議（課題・自由部門）

期日 平成17年10月 9日(日) 8:30 ~ 8:40

期日 平成17年10月10日(月) 8:10 ~ 8:20

場所 米子コンベンションセンター 国際会議室（デモンストレーション会場）

参加者連絡会議（競技部門）

期日 平成17年10月 9日(日) 8:40 ~ 9:00

期日 平成17年10月10日(月) 8:10 ~ 8:30

場所 米子コンベンションセンター 多目的ホール（競技会場）

その他の連絡

各種連絡は多目的ホールホワイエの受付横に掲示しますので、随時ご覧ください。

1.6 日程

10月8日(土) 参加者受付

17:00～18:00の間、会場(米子コンベンションセンター多目的ホールホワイエ)で受付を行います。
(受付場所は、「付録F 本選会場案内図」を参考にしてください。)

受付内容

引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

課題・自由部門参加チームは操作マニュアル・プログラムソースリストを提出してください。

また、プレゼンテーション会場ではプレゼン用パソコンとプロジェクタとの接続確認を行ってください。

(プレゼンテーション会場は、「付録F 本選会場案内図」を参考にしてください。)

競技部門参加チームはプログラムソースリストを提出してください。

全部門参加チームは著作物等の扱いに係わる同意書を提出してください。

10月9日(日)

やむを得ず前日に受付ができなかった参加チームの引率教員は、会場で受付(プロジェクタ接続確認を含む)を済ませてください。

やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.13 問い合わせ先」参照)に事前に連絡してください。

8:00	開館 課題・自由部門 参加者は、国際会議室(デモンストレーション会場)へ入ってください。 競技部門参加者は、多目的ホール(競技会場)へ入ってください。
8:00～8:30	参加者当日受付(1F 多目的ホールホワイエ)
8:30～8:40	課題・自由部門 参加者連絡会議(2F 国際会議室)
8:40～9:15	課題・自由部門 システム搬入チェック(2F 国際会議室)
8:40～9:00	競技部門 参加者連絡会議(1F 多目的ホール)
9:30～10:00	開会式(1F 多目的ホール)
10:10～10:30	課題・自由部門 システムセッティング(2F 国際会議室)
10:10～12:00	課題部門 プレゼンテーション審査(3F 第2会議室)
10:10～12:00	自由部門 プレゼンテーション審査(3F 第3会議室)
10:30～17:00	課題・自由部門 デモンストレーション 一般公開(2F 国際会議室)
12:00～17:00	競技部門 予行演習(1F 多目的ホール)
13:00～17:00	課題部門 プレゼンテーション審査(3F 第2会議室)
13:00～17:00	自由部門 プレゼンテーション審査(3F 第3会議室)
18:00～20:00	指導教員懇親会(米子全日空ホテル)

10月10日(月)

8:00	開館
8:10～8:30	競技部門 参加者連絡会議(1F 多目的ホール)
8:30～14:00	競技(1F 多目的ホール)
8:10～8:20	課題・自由部門 参加者連絡会議(2F 国際会議室)
8:20～8:50	課題・自由部門 システムセッティング(2F 国際会議室)
8:50～12:00	課題・自由部門 デモンストレーション審査・マニュアル審査(2F 国際会議室)
8:50～14:00	課題・自由部門 デモンストレーション 一般公開(2F 国際会議室)
14:00～14:30	課題・自由部門 システム梱包および業者引き渡し(2F 国際会議室)
14:30～15:10	学生交流企画(1F 多目的ホール)
15:10～16:00	閉会式(表章式)(1F 多目的ホール) 終了後 後片づけ

1.7 提出書類

[1] 9月9日(金)必着分

次の2種類の書類を、平成17年9月9日(金)必着で、以下の各メールアドレスへそれぞれ電子メールで提出してください。問い合わせはプロコン委員会事務局(「1.13問い合わせ先」参照)までお願いします。

(1)パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配布するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。6月28日に予選結果とともに送付しました執筆要項および見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ電子メールで提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願いします。

提出先メールアドレス：oubo16@procon.gr.jp

送信メールアドレス：オンライン登録時に登録されている担当事務員の方
その他詳細は、執筆要項をご覧ください。

(2)システム等の調書

各チームは、「システム等の調書」を電子メールで提出してください。本要項にも見本をつけていますが、調書は公式サイトからファイル(MS-Word形式)をダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加チームは、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。会場の設営に必要ですのでご協力をお願いします。(無線LANを使用する場合はその概略仕様等も書いてください。本選デモンストレーション会場においては、課題部門のみインターネット接続を準備します。詳細については公式サイトでお知らせします。)

提出先メールアドレス：jim16@procon.gr.jp

送信メールアドレス：オンライン登録時に登録されている担当事務員の方
ファイル名：登録番号.doc

[2] 受付時提出書類

課題・自由部門および競技部門の本選参加チームは、10月8日(土)の受付時に、下記書類を提出してください。プログラムソースリストおよび操作マニュアルについては、用紙の先頭部分に部門名・タイトル名・学校名・学生名を明記し、用紙が複数ページにわたるときはページ番号を明記の上、用紙の左上1個所を綴じてください。また、作成にあたっては、以下のそれぞれの指示に従ってください。規定外のものが提出されると、失格となることがありますので注意してください。

課題・自由部門

(1) プログラムソースリスト(3部)

A4用紙(縦置き横書き)に黒字で鮮明に印刷したものを提出してください。
コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。

(2) 操作マニュアル(4部)

A4用紙(縦置き横書き)とし、鮮明に印刷したものを提出してください。
コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。

起動から終了までの全ての手順を、わかりやすく記述してください。

操作マニュアルは10ページ以内で作成してください。

本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。

競技部門

プログラムソースリスト(1部)

A4用紙(縦置き横書き)に黒字で鮮明に印刷したものを提出してください。
コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。

各部門共通

著作物等の扱いに係わる同意書(1通)

「1.14 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、
各チームごとに同意書を提出してください。

同意書は本要項につけてあるものを使用してください。また、公式サイトからもファイル
(MS-Word形式)をダウンロードできるようにしてあります。署名(登録されている指導教員
および学生)のうえ受付時に提出してください。

[3] 参加校PR

学生交流企画の中で、学校または出場チームのPRを行います。内容は各高専に一任しますが、1高専あたり1つのPRとします。以下の2種類のファイルを、平成17年9月12日(月)から19日(月)の間に、以下のメールアドレスへ電子メールで提出してください。

(1) PowerPointファイル

1高専あたりMS-PowerPointファイルで4枚(12秒)にまとめてください。ファイルはPowerPoint2003で動作可能な形式にしてください。ファイルサイズは2MB未満とします。圧縮は不可です。MS-PowerPointファイルは1枚3秒間隔で自動設定によりスライドショーを行います。アニメーションなどの特別な設定は行わないでください。場合によっては、変更させて頂くことがあります。

(2) 説明文

40文字以内の説明文をテキストファイルで提出してください。PR時に読み上げます。

提出先メールアドレス：jim16@procon.gr.jp

送信メールアドレス：オンライン登録時に登録されている担当事務員の方

ファイル名：学校のドメイン名.ppt および 学校のドメイン名.txt

(例：米子高専の場合であれば yonago-k.ppt と yonago-k.txt)

1.8 知的所有権について

作品の制作および発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。
従来の例では、

- キャラクタの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は知的所有権についての理解が不十分と思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
文部科学大臣賞 最優秀賞	文部科学大臣賞 最優秀賞	文部科学大臣賞 優勝
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

課題・自由部門全チームの代表者および競技部門入賞チームの各代表者2名は、14時15分までに多目的ホール舞台前に集合してください。

表彰の進行手順については学生交流企画の前に説明します。

閉会式（表彰式）では、課題・自由部門全チームと競技部門入賞チームの各代表者2名が多目的ホール舞台上に、指示にしたがって集合してください。

成績発表や表彰では、喜びや悔しさを素直に表情に出して、会場を大いに盛り上げてください。

賞状等を受け取った後は、観客席に向かって一礼してから元の場所に戻ってください。

賞状を入れる筒、杯・盾を入れる箱、副賞は、閉会式後に受け取ってください。

1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、10月10日(月)14時30分～15時10分まで多目的ホールにおいて以下のような催しを行う予定です。

参加校PR

時間の都合で国際会議室（デモンストレーション会場）他で上映する場合があります。

米子高専学生会・学生有志による出し物

協賛企業の紹介

海外招聘チームの紹介

大抽選会

豪華商品を用意する予定です。抽選券は受付時にパンフレットと一緒に渡します。

学生が選ぶ「魅力あるプログラム」(課題・自由部門)の投票結果発表

優勝チーム予想(競技部門)の投票結果発表

1.11 会場使用について

付録Fに本選会場案内図を添付します。ご参照ください。

ロビーや廊下は飲食禁止です。飲食は、参加者控室（競技部門）あるいは多目的ホールの定められた場所で済ませてください。

参加者控室（競技部門）には各校1台程度の机とコンセント1口を用意する予定です。手荷物等はまとめて参加者控室に置いてください。

コインロッカーは1階にあります。貴重品は、コインロッカーに預けるか身に付けてください。プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技会場、開閉会式会場では、必ず携帯電話・PHSの電源を切るか、あるいはマナーモードに設定してください。

1.12 宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会および会場への交通

宿泊案内

学生および引率教員の宿舎は米子市内（JR米子駅周辺）のホテルを予定しています。宿泊施設については9月15日までに下記の旅行代理店からご連絡いたします。

昼食弁当

昼食弁当は、10月9日(日)と10日(月)の両日とも、11時30分から多目的ホールホワイエで配布します。弁当引換券を持参のうえ受け取ってください。昼食は参加者控室（競技部門）または多目的ホールの定められた場所で行います。ゴミ、空缶、弁当の空箱等は、所定のゴミ箱あるいはゴミ袋をお願いします。

指導教員懇親会

10月9日(日)の18:00～20:00、米子全日空ホテルにおいて指導教員懇親会を開催いたします。参加費用は一人7,000円です。参加の申込みおよび会費の振込みは、既に宿泊・昼食弁当とともに行っていただいたことと思います。追加の申込みについては、下記の旅行代理店にお問い合わせください。

追加・変更

宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会については、既に近畿日本ツーリストよりご案内が送付されていることと思います。これらの件に関する追加・変更等は、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

近畿日本ツーリスト株式会社 山陰支店 米子営業所（担当：谷 和博）

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1-173

TEL: 0859-33-2251 FAX: 0859-22-7106

E-mail: tani724662@mb.knt.co.jp

営業時間平日: 9:00～17:30(土・日・祝日は休業)

会場への交通

本選期間中の会場と宿舎等との移動は原則徒歩で行います。会場敷地内の駐車場は、許可車両以外利用できませんのご注意ください。会場前に他施設と共用の立体駐車場（「付録I アクセスマップ」参照、営業時間 8:50～21:00、無料）がありますので、車で来られる場合にはそちらを利用してください。

1.13 問い合わせ先

本選実施要項および本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

問合せ先

〒683-8502 米子市彦名町4-4-8
米子工業高等専門学校 プロコン委員会事務局（担当：竹上 裕史）
TEL: 0859-24-5023 FAX: 0859-24-5029（学生課学生係）
E-mail: jim16@procon.gr.jp

本選当日の問合せ先

〒683-0043 米子市末広町7-4
米子コンベンションセンター内
全国高専第16回プログラミングコンテスト委員会事務局
携帯電話番号: 090-7994-0901

1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

応募時に提出していただいた書類（作品紹介、応募内容ファイル）および9月9日締切で提出していただくパンフレット原稿（発表要旨、システム概要）、操作マニュアルは本選終了後公式サイトで公開する場合があります。

課題・自由部門のすべてのプレゼンテーションおよびデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオおよびプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。集合形式の記念写真の撮影は行いません。本選期間中、コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真等をデジタルカメラで撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開およびプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。

本選の様態をインターネット経由で全国高専へLIVE配信します。

例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、CD-ROMで配布するとともに公式サイトで公開します。

1.15 その他の注意事項

テレビ・新聞・雑誌等の取材がある場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。

協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、開催地の方々等、多くの方のご努力によりこのコンテストが運営されています。感謝の気持ちを忘れないようにお願いします。

本コンテストは第17回生涯学習フェスティバル-まなびピア鳥取2005-（文部科学省、鳥取県等主催）への参加企画のひとつであり、出展した作品は、一般公開されますので、デモンストレーション一般公開中は必ず学生の説明者をつけてください。

服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

本選当日は、米子コンベンションセンター内、隣の米子文化ホールおよびその周辺でまなびピア鳥取2005の各種催物が開催されています。

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

主催者側でコンピュータ等の準備をすることはありませんのでご注意ください。なお、搬入・搬出の費用は主催者側では負担しません。係る運賃および保険料は参加者側で負担願います。搬送にあつては、下記にご留意ください。

- (1) システムの搬入・搬出を円滑に行うため、主催者側で搬送業者を中国ヤマトホームコンビニエンス(株)に指定しました。課題・自由部門に参加するチームのシステムの搬入・搬出については、各チームの指導教員宛に最寄りのヤマト運輸株の各引越支店より連絡のうえ、打ち合わせるようになっております。貴校からの搬出は、北海道地区では1週間程度、その他の地域では3、4日必要となりますので、遅れないよう余裕を持って準備願います。

中国ヤマトホームコンビニエンス(株) 山陰単身引越センター
〒690-0823 島根県松江市西川津町 4181
TEL: 0852-28-0885 FAX: 0859-34-7816 フリーダイヤル: 0120-008008
担当者: 中山 崇 (携帯: 080-5094-3079)

- (2) 課題・自由部門のシステム搬送中の破損事故を防止するため、混載のない、下記の引越便仕様を推奨いたします。この引越便の仕様および費用は以下の通りです。なお、伝票記入は業者が行いますが、梱包は依頼者側で行い、見易い位置に「付録G 梱包識別票」を必ず貼付してください。梱包識別票は本要項につけてあるものをコピーして使用してください。また、公式サイトからもファイル(PDF形式)をダウンロードできるようにしてあります。

デモンストレーション機器の安全な搬送とともに、搬入・搬出時の混乱防止および大会の円滑な実施のために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

搬送引越便仕様 幅1.1m×奥行1.1m×高さ1.7mの引越専用ボックス(単身引越用)
そのままの状態でリフトアップ、リフトダウンされます。
チームで同送したいものがあれば、箱の容量まで同梱できます。
大型のもの・精密機器等は、別途相談・別途見積りとなります。

片道搬送費用概算(専用ボックス1本, 税込み)

北海道	50,400円	東北	34,650円	関東・信越	31,500円
北陸・中部・四国	28,350円	関西・九州	25,200円	中国	18,900円

搬出または搬入が土日祝日にあたる場合は、1ボックス当たり3,150円加算となります。

保険料は参加者負担とします。

地域により若干の差がある場合があります。

- (3) システムは業者によって10月8日(土)に搬入されます。課題・自由部門の参加チームは、搬入されたシステム等の確認を9日(日)の8:40よりデモンストレーション会場(2F 国際会議室)で行ってください。

- (4) 搬出については10月10日(月)の14:00~14:30の間にシステムを梱包の上、「付録G 梱包識別票」を貼付して、業者に引き渡してください。伝票等の記入は業者が行います。

2.2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーション審査の概要

システムの特徴や有用性，制作上のポイントなどを口頭で発表してください。

審査の観点は，システムの独創性，有用性，制作上の技術力，発表能力などです。

発表は一人で行ってください。

1テーマあたりの発表時間は8分とし，質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を打ち切り，直ちに質疑に移りますのでご注意ください。

機器は，パソコンの画面が表示可能なプロジェクタを使用できます。プロジェクタは640×480ドット(VGA)，800×600ドット(SVGA)，1024×768ドット(XGA)の解像度に対応可能です。接続できるパソコンはDOS/V仕様で，接続コネクタは「ミニD-SUB15pin」です。なお，スクリーンは1面のみ利用可能です。

パソコン接続および操作は，発表チームの学生が行ってください。

プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし，発表全体の構成上必要と思われる場合は，適当に効果音を入れても構いません。

機器接続のトラブルのために映像等が正常に出力できない可能性もありますので，必ずOHP原稿も用意してください。

発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果，6月28日に送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録A，付録Bにプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので，進行状況に留意のうえ遅れないように準備してください。

プレゼンテーション審査についての注意事項

発表が始まると同時に，次の発表者は会場入り口横の廊下で待機し，係員にワイヤレスマイクをつけてもらってください。また，担当者の指示に従ってパソコンを起動し，すぐに発表できる投影状態にして待機してください。

司会者に名前を呼ばれたら，登壇してください。

準備に手間取った場合，OHPのみでの発表にならざるを得ないことがあります。その場合は司会の指示に従って，OHPの発表に切り替えてください。

発表は8分，質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴，8分で2鈴，12分で3鈴，そして終了です。発表の途中であっても，8分を過ぎた時点で発表を打ち切り，直ちに質疑に移りますので注意してください。

審査委員の質問には，発表者だけが答えてください。

ノートパソコン・OHPシート等の交換要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

システム搬入チェック 【10/9(日)8:40~9:15】

搬送されたシステムは各ブースの机に置いてあります。

搬送個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

システムセッティング【10/9(日)10:10~10:30, 10/10(月)8:20~8:50】

ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録Dを参照してください。

システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)と学校名を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。

説明用パネルを吊り下げる金具(フック)を1個用意しますので利用してください。

課題部門・自由部門の各作品は、机や参加者の椅子なども含めて幅200cm、奥行150cm、高さ240cmの範囲内にセッティングしてください。

掲示用パネルは幅90cm、高さ180cmの会場設備の衝立パネルを2枚横に並べたものです。画紙は使用してもかまいませんが、主催者では用意しませんので必要に応じて各チームで用意してください。なお、吊り下げ用のフックを各ブースに1個ずつ用意します。

デモンストレーション会場の床はカーペット(材質はナイロン100%)になっていますので注意してください。

システム搬入に使用した“段ボール箱”などは、プロコン委員の指示に従ってデモ会場内の梱包材置き場(掲示用パネルの裏側)に整理・整頓して納めてください。

システムを置く机の下に4口コンセント(3つ口タイプ、ただしアース配線なし)を準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、合計容量は約500Wです。この電力を大幅に超える場合には早急にプロコン委員会事務局までご連絡ください。

システムの最終調整とブース内の整理整頓を行ってください。

一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

デモンストレーション一般公開【10/9(日)10:30~17:00, 10/10(月)8:50~14:00】

デモンストレーションは、高専教育の成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを表現する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全く素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明が必要になります。

一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。

デモンストレーション審査委員またはマニュアル審査委員がみえたら、一般公開での説明などを中断し、審査を受けてください。

会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。

昼食などは交代でとり、説明する学生が不在にならないようにしてください。

各高専のコンテストに関する意見交換の場として、積極的に利用してください。

デモンストレーション審査【10/10(月)8:50~12:00】

審査員が小グループに分かれ巡回審査します。審査員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら審査員に対して口頭で説明してください。また、審査員の質問にも答えてください。

審査の観点は、システムの独創性、有用性、制作上の技術力、操作性、マニュアルの正確性、マニュアル記述能力、パネルの記述能力とします。

説明時間は5分を限度とし、質疑応答(2分)、移動を含め計7分以内です。

審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。

デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、この審査を最優先して行います。

審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつかます。

マニュアル審査【10/10(月)8:50~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

作品の審査時間は、移動を含めて7分です。

マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつかます。

審査対象は課題・自由部門の全作品です。

マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、この審査を優先して行います。

デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録Cにデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

システムの搬出【10/10(月)14:00~14:30】

デモシステムを梱包し、「付録G 梱包識別票」を貼付して各ブースの机に置いてください。

搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談のうえ参加者の責任で依頼願います。

“ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。

使用したブースなどの“後片付け”と“清掃”を実施してください。

梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

組み合わせは審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。審査委員に決めていただいたマジックナンバーは4 2 7 3でした。決定した組み合わせは、「付録E 競技組み合わせ」の通りです。

3.2 選考の概要

競技時間は7分とします。7分間が経過すると、解答サーバが自動的に解答を締め切ります。

競技は、1回戦7試合(試合番号1~7)、敗者復活戦5試合(試合番号8~12)、2回戦3試合(試合番号13~15)、決勝戦1試合(試合番号16)により行います。

1回戦では、各試合の上位2チームが勝ち残ります。勝ち残ったチームは「付録E 競技組み合わせ」に従い2回戦に進みます。例えば第1試合の1位は、2回戦第1試合の第1コートに進みます。

敗者復活戦では、上位2チームが2回戦に進出します。

2回戦では各試合の上位2チームのみ勝ち残ります。

決勝戦では、上位から順に優勝、準優勝、第3位を決定します。

応募書類および競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

3.3 予行演習

競技の予行演習を行います。全チーム参加してください。予行演習の順番、制限時間等は競技部門参加者連絡会議で連絡します。

日時： 10月9日(日) 12:00~17:00

会場： 多目的ホール

3.4 質問受付

競技ルールについての大きな変更はありませんが、これまでに公式サイトでお知らせした以下の内容を再度ご確認ください。

募集要項『競技部門のご案内』

競技部門Q & A, 競技部門追加情報

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、9月9日(金)までの期間、質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答は公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

問い合わせメールアドレス： kyogi16@procon.gr.jp

質問に際しては、質問者の高専名、所属、氏名を明記してください。

質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開いたします。

付録A 課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月9日(日)10:10～16:25
 会場 第2会議室(3F)
 発表持ち時間 発表時間8分, 質疑応答4分, 交代1分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	f o r E s c a p e 災害時における情報伝達システム	木更津
2	10:23 ~ 10:35	S D . W o r k s 地域密着型店舗商品検索システム	八代
3	10:36 ~ 10:48	サウンドナビゲーター	長野
4	10:49 ~ 11:01	S A I 安否情報等確認システム	大島商船

休憩 8分 (11:01～11:09)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:21	お洗濯とりこMail	鳥羽商船
6	11:22 ~ 11:34	I C埋め込み教科書 Oh...IC!! タグ	小山
7	11:35 ~ 11:47	いま、おしていきます 車椅子介護シミュレーション	新居浜
8	11:48 ~ 12:00	L a・見える	石川

休憩 60分 (12:00～13:00)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名(大学名)
HUT	13:00 ~ 13:12		ハノイ工科大学
MUST	13:13 ~ 13:25		モンゴル科学技術大学

発表順序等の進行確認 (13:25～13:35)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:35 ~ 13:47	わんわん散歩物語	弓削商船
10	13:48 ~ 14:00	地球SharingSTAR 地球資源共有支援システム	舞鶴
11	14:01 ~ 14:13	町災共ネット 災害に強い町内災害情報共有システム	八戸
12	14:14 ~ 14:26	My Body Guard 共に歩こう夜の道	阿南

休憩 8分 (14:26～14:34)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:34 ~ 14:46	L A Nらん・ショッピング	福井
14	14:47 ~ 14:59	S t a r G u a r d s 地域情報で子供たちを守れ!!	徳山
15	15:00 ~ 15:12	これでDaijob 助け愛net	松江
16	15:13 ~ 15:25	3D Navigator	東京

休憩 9分 (15:25～15:34)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:34 ~ 15:46	速度監視人	米子
18	15:47 ~ 15:59	気配りコンサルジュ 視覚障害者の「困った」のための音声案内	熊本電波
19	16:00 ~ 16:12	『街 aruki』 3D地図ナビゲーター	鈴鹿
20	16:13 ~ 16:25	頑張れモンQ・GG! 元祖グラウンドゴルフロボ	鳥羽商船

プレゼンテーション審査終了 16:25

付録B 自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月9日(日)10:10~16:25
 会場 第3会議室(3F)
 発表持ち時間 発表時間8分, 質疑応答4分, 交代1分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	Antwave 超次元コラボレーションブラウザ	津山
2	10:23 ~ 10:35	Mail Agent びんわんメール秘書	久留米
3	10:36 ~ 10:48	TerraClus 非有限ソーシャルネットワークシステム	福島
4	10:49 ~ 11:01	3D-Mouse 高次元型新世代ワーキングマウスの提案	宇部

休憩 8分 (11:01~11:09)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:21	Interactive Creator 想いを形に	大分
6	11:22 ~ 11:34	弁才天	阿南
7	11:35 ~ 11:47	The Lords of the Earth 種の工房	東京
8	11:48 ~ 12:00	雲をつかむような話 あの雲は何に見える?	鈴鹿

休憩 80分 (12:00~13:20)

発表順序等の進行確認 (13:25~13:35)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:35 ~ 13:47	車のシンクロ!? モーターボイーズ	都城
10	13:48 ~ 14:00	3D DA.net 3D人形アニメーション作成システム	鳥羽商船
11	14:01 ~ 14:13	ひゃくmath.ネット	詫間電波
12	14:14 ~ 14:26	Health me!! 効くボクサーへの道	金沢

休憩 8分 (14:21~14:29)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:34 ~ 14:46	Kproject 高専交流拡大計画	有明
14	14:47 ~ 14:59	どっちの文句裁く省 判決はどっち!? 卓球自動判定システム	米子
15	15:00 ~ 15:12	小学生のためのものづくり支援システム ワクワクWorkさん	長野
16	15:13 ~ 15:25	Prog_reS 次世代プレゼンテーション	木更津

休憩 9分 (15:20~15:29)

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:34 ~ 15:46	アカシック・ナビゲータ 時間旅行へ In The Sky	松江
18	15:47 ~ 15:59	memog ネットワーク対応メモ管理ソフト	八代
19	16:00 ~ 16:12	脱出 火災	宮城
20	16:13 ~ 16:25	World extreme Programmingの勧め	弓削商船

プレゼンテーション審査終了 16:25

付録C デモンストレーション審査・マニュアル審査 タイムテーブル

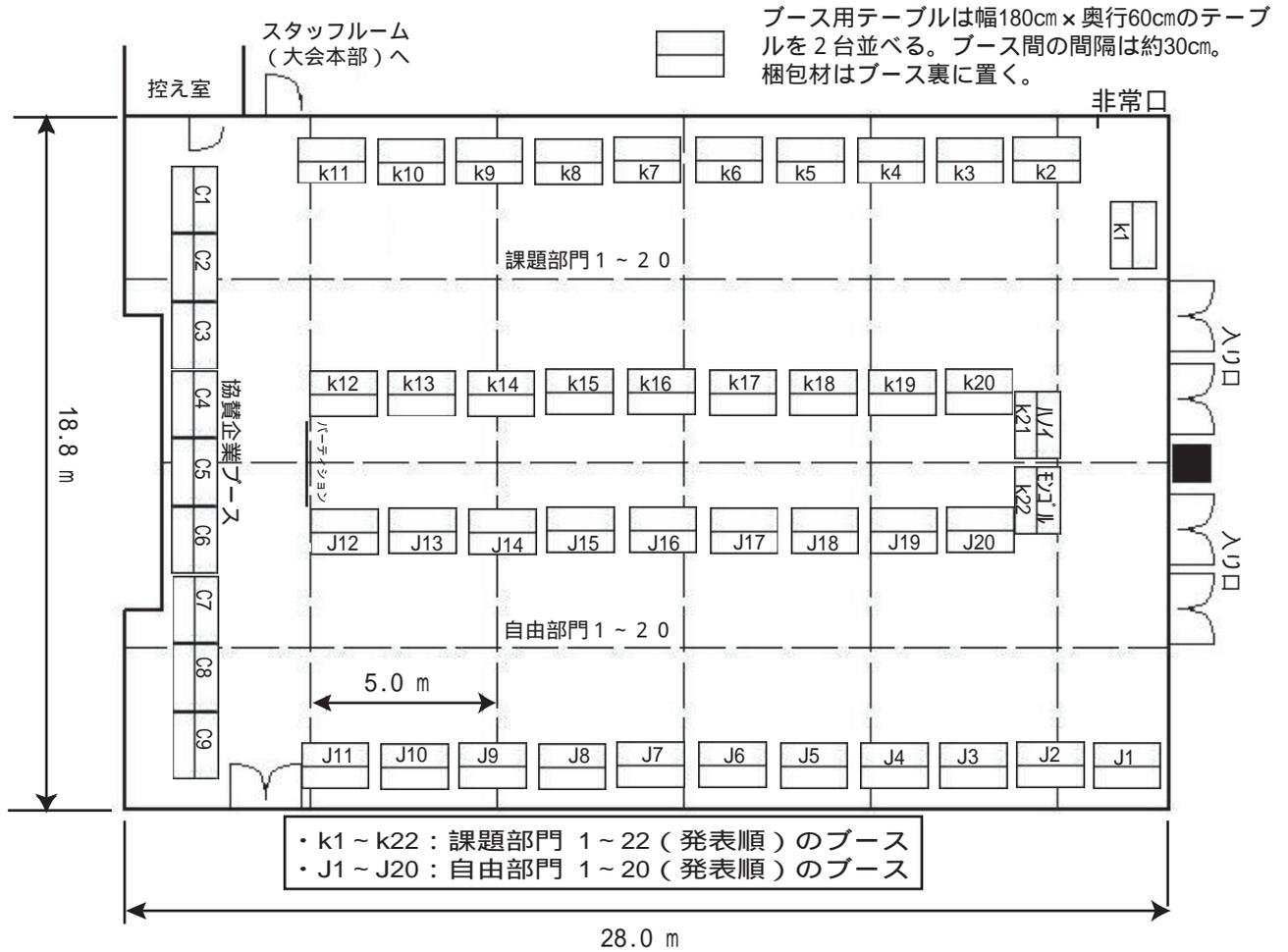
審査日時 10月10日(月) 8:50～11:42
 会場 国際会議室(2F)
 発表持ち時間 説明時間5分, 質疑応答2分 (移動時間を含めて7分)

審査時間	課題部門			自由部門		
	A班	B班	C班	D班	E班	F班
	デモ審査	デモ審査	マニュアル審査	デモ審査	デモ審査	マニュアル審査
8:50 ~ 8:57	1	8	15	1	8	15
8:57 ~ 9:04	2	9	16	2	9	16
9:04 ~ 9:11	3	10	17	3	10	17
9:11 ~ 9:18	4	11	18	4	11	18
9:18 ~ 9:25	5	12	19	5	12	19
9:25 ~ 9:32	6	13	20	6	13	20
9:32 ~ 9:39	7	14	HUT	7	14	1
9:39 ~ 9:46	8	15	MUST	8	15	2
9:46 ~ 9:53	9	16	1	9	16	3
9:53 ~ 10:00	10	17	2	10	17	4
10:00 ~ 10:07	11	18	3	11	18	5
10:07 ~ 10:25	休 憩 時 間					
10:25 ~ 10:32	12	19	4	12	19	6
10:32 ~ 10:39	13	20	5	13	20	7
10:39 ~ 10:46	14	HUT	6	14	1	8
10:46 ~ 10:53	15	MUST	7	15	2	9
10:53 ~ 11:00	16	1	8	16	3	10
11:00 ~ 11:07	17	2	9	17	4	11
11:07 ~ 11:14	18	3	10	18	5	12
11:14 ~ 11:21	19	4	11	19	6	13
11:21 ~ 11:28	20	5	12	20	7	14
11:28 ~ 11:35	HUT	6	13			
11:35 ~ 11:42	MUST	7	14			

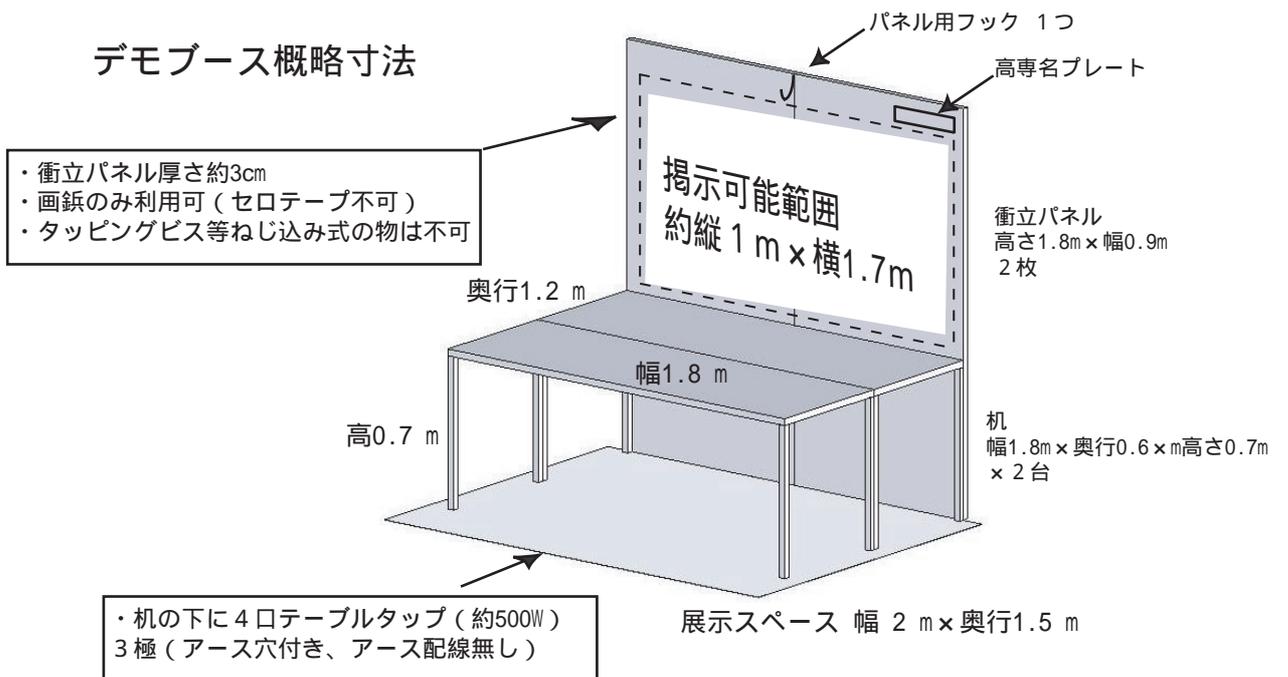
注意: 表中の数字(1～20)はプレゼンテーション審査の発表順番号を表しています。
 HUTはハノイ工科大学, MUSTはモンゴル科学技術大学を表しています。

付録D デモンストレーション用ブースの配置と展示スペース

デモンストレーション会場（2F 国際会議室）



デモブース概略寸法



付録E 競技部門 組み合わせ

競技日時 10月10日(月) 8:30~14:00
 会場 多目的ホール
 競技時間 7分

1回戦 / 各試合上位2チームが2回戦に進出する。他は敗者復活戦へ。

コート	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合
1	一関	仙台電波	高松	富山	阿南
2	長野	舞鶴	東京都立	釧路	津山
3	鈴鹿	富山商船	旭川	石川	苫小牧
4	北九州	熊本電波	福島	秋田	高知
5	群馬	八戸	徳山	茨城	福井
6	宇都	松江	和歌山	有明	佐世保
7	長岡	都立航空	大分	神戸市立	都城
8	岐阜	金沢	鹿児島	鶴岡	宮城
9	サレジオ	新居浜	明石	ハノイ工科大	モンゴル科技大
コート	第6試合	第7試合			
1	奈良	木更津			
2	東京	弓削商船			
3	沼津	詫間電波			
4	久留米	米子			
5	小山	鳥羽商船			
6	八代	豊田			
7	呉	大阪府立			
8	大島商船	広島商船			
9					

敗者復活戦 / 各試合上位2チームが2回戦に進出する。

コート	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合
1	1回戦第1試合3位	1回戦第3試合3位	1回戦第4試合3位	1回戦第5試合3位	1回戦第6試合3位
2	1回戦第2試合3位	1回戦第3試合4位	1回戦第2試合4位	1回戦第1試合4位	1回戦第7試合3位
3	1回戦第1試合5位	1回戦第4試合4位	1回戦第5試合4位	1回戦第6試合4位	1回戦第7試合4位
4	1回戦第2試合5位	1回戦第3試合5位	1回戦第4試合5位	1回戦第5試合5位	1回戦第6試合5位
5	1回戦第4試合6位	1回戦第3試合6位	1回戦第2試合6位	1回戦第1試合6位	1回戦第7試合5位
6	1回戦第5試合6位	1回戦第6試合6位	1回戦第7試合6位	1回戦第1試合7位	1回戦第2試合7位
7	1回戦第6試合7位	1回戦第7試合7位	1回戦第5試合7位	1回戦第4試合7位	1回戦第3試合7位
8	1回戦第1試合8位	1回戦第2試合8位	1回戦第3試合8位	1回戦第4試合8位	1回戦第5試合8位
9	1回戦第1試合9位	1回戦第2試合9位	1回戦第3試合9位	1回戦第7試合8位	1回戦第6試合8位
10			(ハノイ工科大)	(モンゴル科技大)	

2回戦 / 各試合上位2チームが決勝戦に進出する。

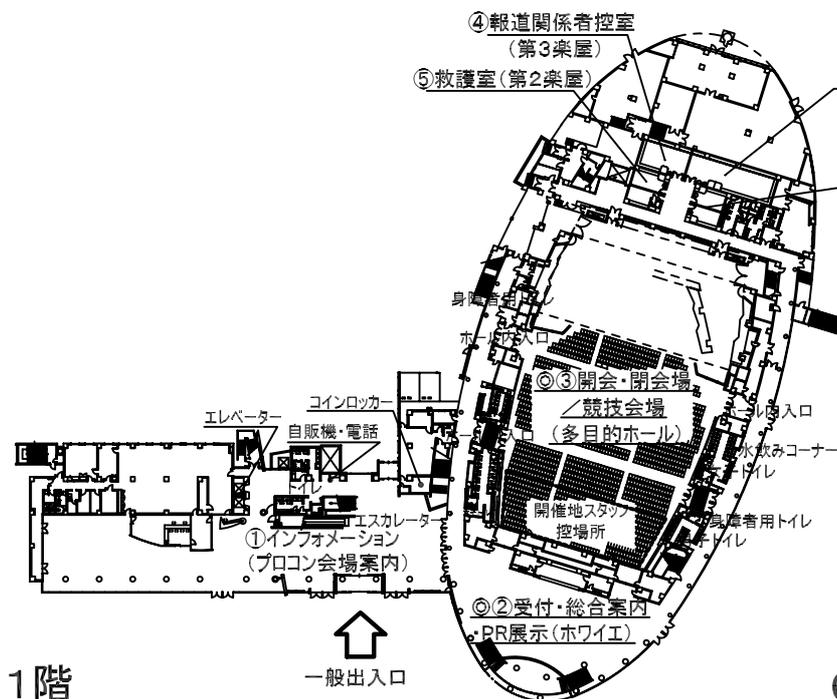
コート	第1試合	第2試合	第3試合
1	1回戦第1試合1位	1回戦第2試合1位	1回戦第3試合1位
2	1回戦第4試合1位	1回戦第5試合1位	1回戦第6試合1位
3	1回戦第2試合2位	1回戦第1試合2位	1回戦第7試合1位
4	1回戦第3試合2位	1回戦第4試合2位	1回戦第5試合2位
5	敗復戦第1試合1位	1回戦第7試合2位	1回戦第6試合2位
6	敗復戦第2試合1位	敗復戦第4試合1位	敗復戦第5試合1位
7	敗復戦第3試合1位	敗復戦第1試合2位	敗復戦第3試合2位
8	敗復戦第4試合2位	敗復戦第2試合2位	敗復戦第5試合2位
9		(ハノイ工科大)	(モンゴル科技大)

決勝戦

コート	
1	2回戦第1試合1位
2	2回戦第1試合2位
3	2回戦第2試合1位
4	2回戦第2試合2位
5	2回戦第3試合1位
6	2回戦第3試合2位
7	(ハノイ工科大)
8	(モンゴル科技大)

オープン参加の外国チームについては順位を付けず、
 高専チームの中から勝ち上がりチームを決める。
 外国チームは、その試合の2位の高専チームよりも
 好成绩だった場合に、上の回戦の試合に参加できる。

付録F 本選会場案内図 米子コンベンションセンター



1階

一般出入口

1階

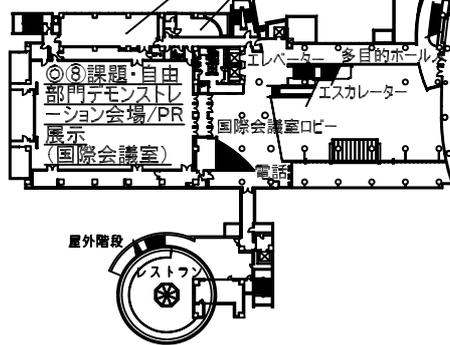
- ①インフォメーション(プロコン会場案内)
- ②受付・総合案内・PR展示(ホワイエ)
- ③開会・閉会場／競技会場(多目的ホール)
- ④報道関係者控室(第3楽屋)
- ⑤救護室(第2楽屋)
- ⑥協賛企業控室(第4楽屋)
- ⑦競技関係者準備室(第5・6楽屋)

2階

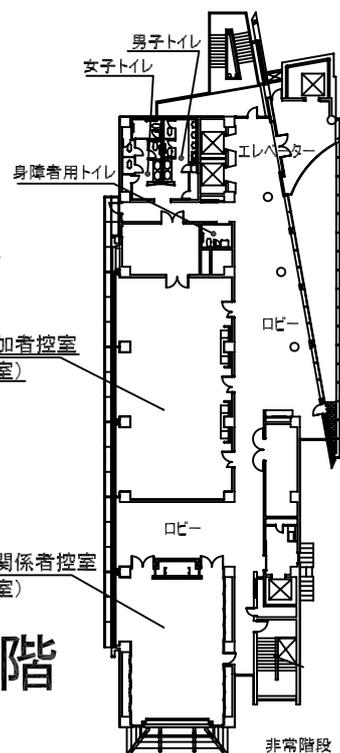
2階

- ⑧課題・自由部門デモンストレーション会場／PR展示(国際会議室)
- ⑨大会本部・プロコン委員控室(スタッフルーム)
- ⑩文部科学省・後援団体控室(特別控室)

- ⑩文部科学省・後援団体控室(特別控室)
- ⑨大会本部・プロコン委員控室(スタッフルーム)



屋外階段



6階

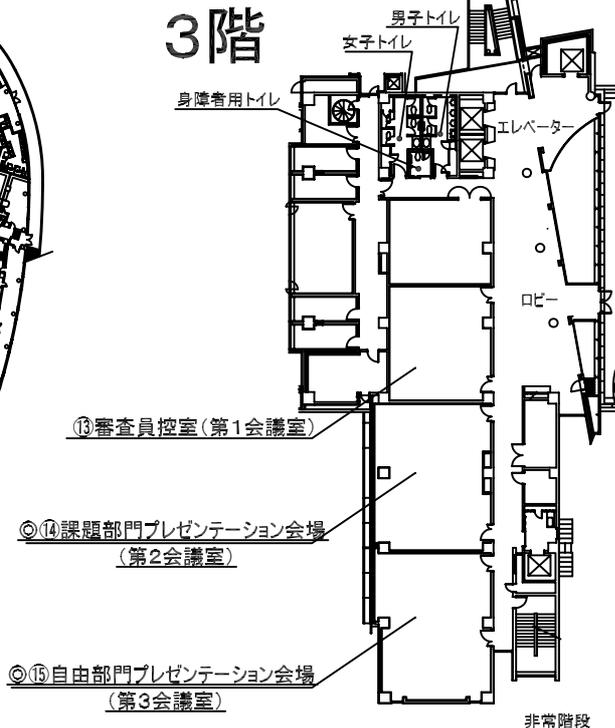
6階

- ⑪競技部門参加者控室(第7会議室)
- ⑫校長・部長・学校関係者控室(第8会議室)

3階

- ⑬審査員控室(第1会議室)
- ⑭課題部門プレゼンテーション会場(第2会議室)
- ⑮自由部門プレゼンテーション会場(第3会議室)

3階



非常階段

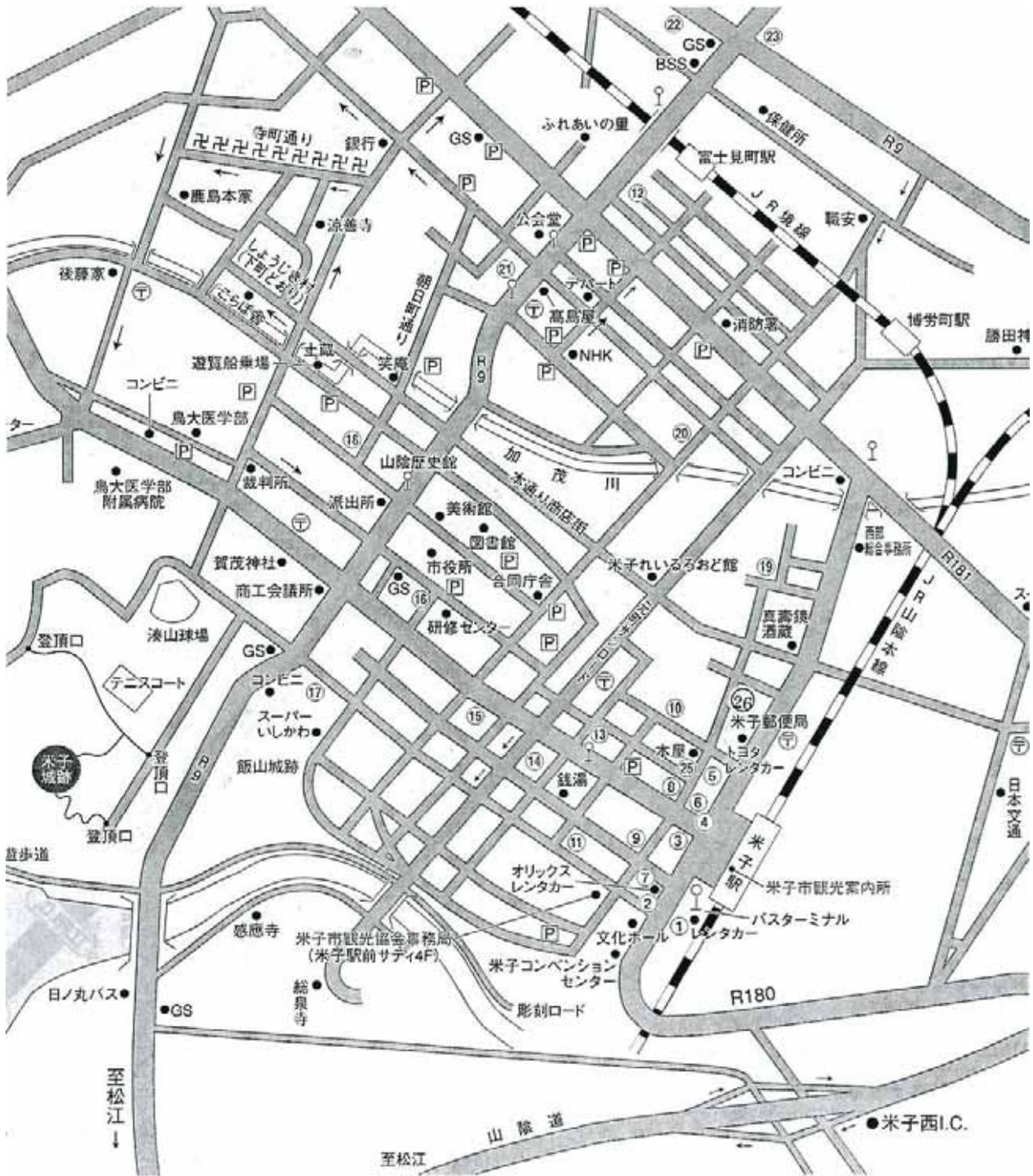
付録G 梱包識別票

高専

課題/自由 **部門** 発表順番号

梱包 No. _____ / _____ 個中

付録 H ホテル周辺地図

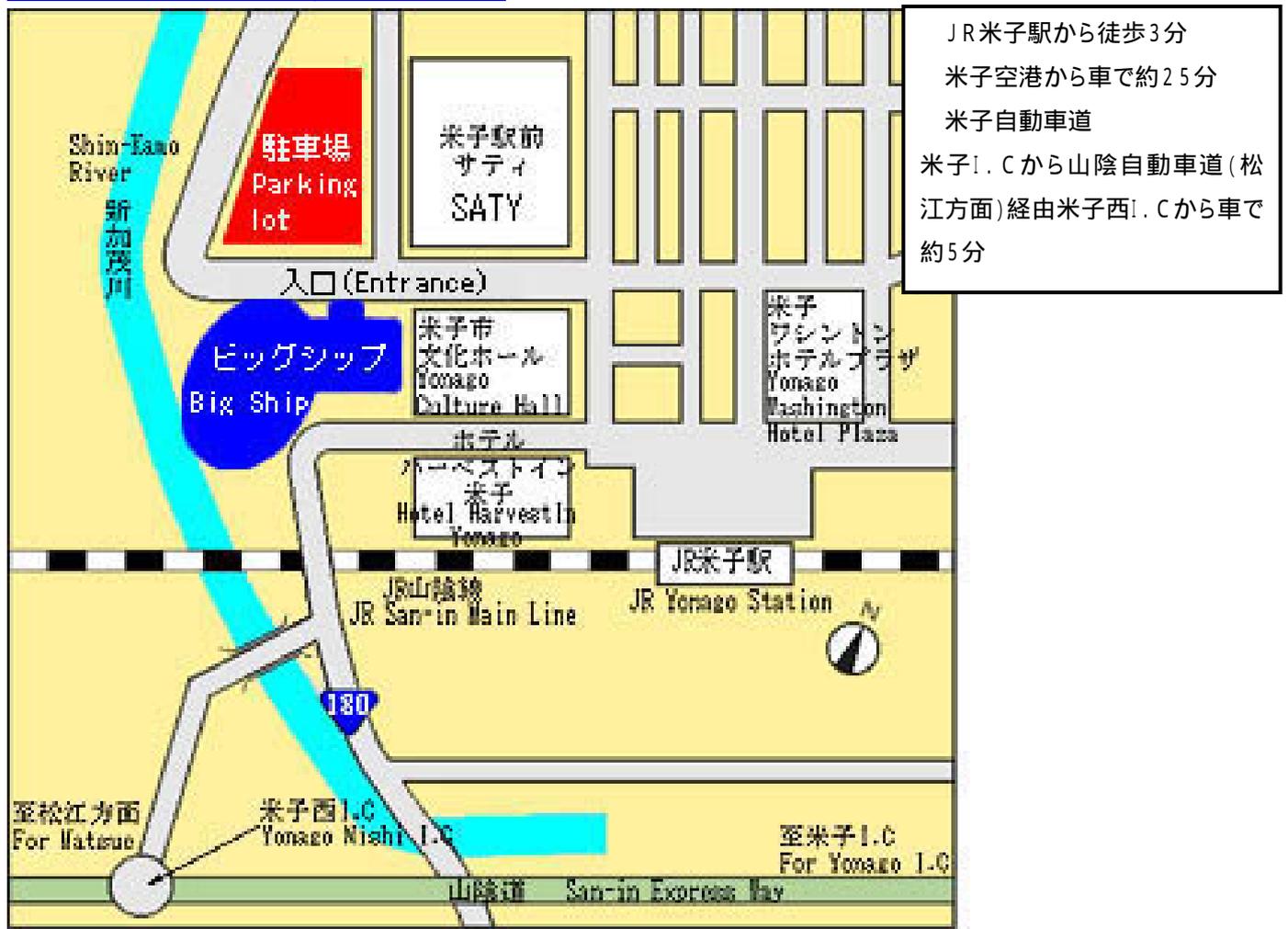


番号	ホテル名	電話(0859)	番号	ホテル名	電話(0859)
1	ホテルハーベストイン米子	31-1111	7	喜乃旅館	34-2531
2	米子ターミナルホテル	34-1444	11	サンホテル青木	32-3020
3	米子タウンホテル	32-1333	17	米子全日空ホテル	36-1111
4	米子ワシントンホテル	31-9111	21	ホテルカクバン	35-0010
6	ホテルフロンティア	22-7300	26	米子ユニバーサルホテル	23-5000

付録I アクセスマップ

プログラムコンテスト会場:米子コンベンションセンター ビッグシップ

<http://www.pref.tottori.jp/bigship/accessj.htm>



鉄道	http://www.jr-odekake.net/					
米子	-	特急 約5時間20分(新幹線・伯備線)	-	東京		
米子	-	特急 約2時間45分(新幹線・伯備線)	-	新大阪		
米子	-	特急 約3時間50分(新幹線・伯備線)	-	博多		
米子	-	特急 約2時間 (伯備線)	-	岡山		
飛行機	http://www.yonago-air.com/					
米子空港	-	75分 1日5往復(全日空)	-	東京		
米子空港	-	65分 1日2往復(全日空)	-	名古屋		
米子空港	-	90分 週3往復 (アジアナ航空)	-	ソウル		
高速バス	http://www.hinomarubus.co.jp/					
米子	-	1日1往復(夜行便)	-	東京(10時間45分)	-	日ノ丸・日交・京浜急行
米子	-	1日18往復	-	大阪(3時間30分)	-	日交
米子	-	1日5往復	-	神戸(3時間20分)	-	日交
米子	-	1日3往復	-	京都(4時間15分)	-	日交・京阪
米子	-	1日5往復	-	広島(3時間55分)	-	日交・日ノ丸・広島電鉄
米子	-	1日1往復	-	福山(3時間30分)	-	日ノ丸・中国バス
米子	-	1日7往復	-	岡山(2時間15分)	-	日ノ丸・一畑バス・中鉄バス
米子	-	1日1往復(夜行便)	-	福岡(8時間50分)	-	日ノ丸・日交・西鉄

URL は変更されることがあります。詳細は、各交通機関の窓口でご確認ください。

同意書

プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作物等を以下のような用途および範囲で利用することを許諾します。

【対象（著作物等）】

- ・応募時提出書類（作品紹介，応募内容ファイル）
- ・パンフレット原稿（発表要旨，システム概要）
- ・プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・操作マニュアル
- ・プレゼンテーション，デモンストレーション，競技等のビデオおよび写真

【用途】

- ・大会記録
- ・主として高専学生を対象とした教材への利用

【公開範囲】

- ・プロコン公式サイト
- ・記録ビデオ
- ・パンフレット，リーフレット
- ・高専間 LIVE 配信実証実験プロジェクト
- ・高専 IT 教育コンソーシアムが進めるコンテンツ開発企画
- ・高専学生用 e-Learning システム 等

上記内容に同意します。

2005年 月 日

高 専 名： _____ 高等専門学校

部 門 名： 課題・自由・競技 部門

作品タイトル： _____

署 名：

指導教員 _____

学 生 _____

課題・自由部門 システム等の調書 記入上の注意事項：

1. 課題部門では、デモンストレーション会場において、インターネット接続を以下の条件で提供します。
 - 各ブースに1ポートのUTPケーブルを提供します。
 - 会場からは鳥取情報ハイウェイおよびNTT B フレッツを経由して、100Mbps(ベストエフォート)でインターネットへ接続します。
 - 主催者側では、インターネット接続を保証するものではありません。障害時のことも考慮に入れてシステムを構成してください。
 - HUB, ルータは各自で準備してください。
 - アクセス制限のため、LAN アクセス管理システムを設置します。ネットワーク接続は、DHCPによるアドレス発行を行ないませんが、WWW ブラウザによるユーザ認証が必要となります。詳細は製品ホームページ
<http://www.ferec.jp/aboutferec2.php>
を参照してください。
 - ブースごとにアカウントを1つ発行します。同一アカウントによる同時接続はできません。
2. 無線 LAN を使用の場合は、その概略仕様等をお知らせください。
3. テーブルや参加者用の椅子なども含めて幅 200cm, 奥行 150cm, 高さ 240 cm の範囲に置けるものとしてください。
4. 各ブースのテーブル(幅 180cm, 奥行 120cm)は委員会で設置を予定していますが、必要か不要かを(「その他」の欄に で囲んで)答えてください。

**全国高等専門学校
第16回 プログラミングコンテスト
システム等の調書**

部 門	競 技 部 門	整理番号 (事務局で記入)	
学 校	校 名	高等専門学校	
	住 所	〒	
	電 話	()	
指 導 教 員 (引率教員)	学 科		
	氏 名		
シ ス テ ム	使用機器の構成 (使用するノートパソコンの台数。特別なデバイスやLANを使用予定の場合は、その概略仕様等。)		

提出締切：9月9日(金)必着